

外科後期研修カリキュラム

【一般目標】

安全で信頼されうる診療を提供し、患者、家族および社会のニーズに応えるために、レベルの高い均質な包括的な外科診療能力を修得する。

【行動目標】

1. 外科医として診療に必要な基礎知識に習熟し、臨床応用できる。
2. 外科診療に必要な検査、処置、麻酔手技に習熟しそれらの臨床応用ができる。
3. 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を修得し、その臨床応用ができる。
4. 医の倫理に配慮し、外科的診療を行う上での適切な態度と週間を身につける。
5. 緩和ケアについて習熟しそれらの臨床応用ができる。
6. 外科学の進歩にあわせた生涯学習を行うための方略の基本を修得する。
7. 外科専門医受験に必要とされる要件を満たす。

【方略】

1. 外来、入院患者を主治医として担当し、検査、処置、診断、治療、経過観察を行う。
2. 術者または助手として手術を担当する。
3. 胸部外科、小児外科、麻酔科・ICU、その他外科関連各科で適宜短期の研修を行う。
4. 指導医のもとに全身麻酔、集中治療を担当する。
5. 指導医のもとに外傷の診断、治療を担当する。
6. 指導医のもとに緩和ケア病棟でのケア、治療を担当する。
7. コメディカルスタッフと強調、協力してチーム医療を実践する。
8. 症例検討会での討論、学会発表、論文発表を行う。

【週間スケジュール】

カンファレンスなど

月曜 午後5時より 消化器内科との合同カンファレンス

木曜 午後3時より 病棟カンファレンス、手術症例検討会

第1土曜 午前8時より 抄読会

日常診療

月曜～金曜 午前：外来診療、回診、手術

午後：手術、検査

【評価方法】

項目	評価者	時期	評価法
経験した手術手技名、数	自己、指導医	3ヶ月毎	自己記録
担当患者疾患名	自己、指導医	3ヶ月毎	自己記録
定例カンファレンスでの提示	自己、指導医	毎週	口頭
学会発表、論文発表	指導医	1年	自己記録

【別に定める事項】

1. 手術経験数 : 日本外科学会の外科専門医受験要件を満たす数を最低とする。
2. 目標とする学会発表数 : 毎年地方会1回、全国学会1回を目標とする
3. 目標とする論文数 : 研修期間終了までに2編を作成する